

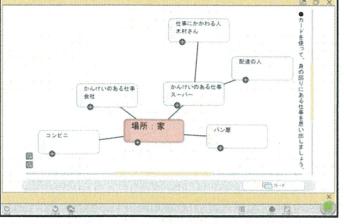
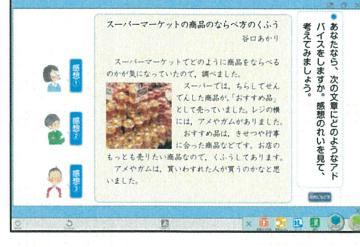
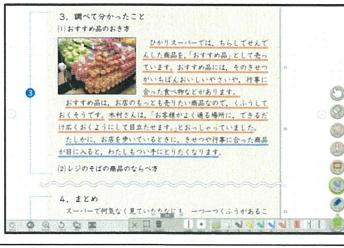
## ■ 単元名

3年上 組み立てを考えて、ほうこくする文章を書こう 「仕事のくふう、見つけたよ」

## ■ 単元の特徴（ねらい）とデジタル教科書の活用について

本単元では、「分かったこと」と「考えたこと」を区別して記述することを大切にしたい。そこで、デジタル教科書のモデル文に「分かったこと（赤）」と「考えたこと（青）」に線を引き、構成について視覚的に捉えさせたい。また、アドバイスを考えるモデル文を用いて、構成のイメージを具体化させることも行う。

## ■ 指導計画例（全12時間）

学習活動	◇指導事項・指導上の留意点◆評価規準（評価方法）	デジタル教科書の活用例（数字は学習活動の番号）
①学習の見通しをもつ。  ②身の回りにある仕事を挙げ、調べたい仕事を選ぶ。	◇学習内容・方法のだいたいを理解し、意欲を持つこと。  ◆学習課題を理解して、報告する文章を書く過程を理解している。  ◆相手や目的を意識して、知っていることをもとに、書く題材を選択している。	・<マッピング>の例を示す。（②）  
③選んだ仕事を詳しく調べるための方法を確認し、調べ学習の計画を立てる。  ④⑤調べ学習の計画をもとに、図書館の本やインターネットを活用したり、実際に働く人にインタビューしたりして調べる。	◆詳しく調べるための方法を理解し、取材活動の見通しを持っている。  ・調べ学習の進捗状況が把握できる調べ学習カードを準備する。  ◇選択した仕事に関する情報を収集する。  ・調べる題材に関して、いくつかの資料の候補を準備しておく。  ・P90-91「引用するとき」の学習内容を想起させ、正しく引用することの大切さを確認する。	・P90-91「引用するとき」を提示し、気を付けることを確認する。（④⑤）  
⑥調べた内容を整理して、報告したい内容を選ぶ。  ★⑦報告する文章の組み立てについて考える。	◆相手や目的を意識しながら、集めた情報を比較し、伝えたいことを選んでいる。  ◇「ワーク」<アドバイスを考えましょう>から、不足情報を考える。	・<アドバイスを考えましょう>の報告文から、読み手にとって不足している情報を考える。（⑦）  
⑧自分が調べた内容を組み立てのメモにまとめる。	◆書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりごとに整理して、文章の構成を考えている。  ・P94「組み立てのメモ」を確認する。	・P95「谷口さんが書いた、ほうこくする文章」を提示し、分かったこと（赤）と考えたこと（青）が分けて記述されていることを視覚的に捉える。（⑨）  
⑨⑩作例を参考しながら、報告する文章の下書きを書く。	◆段落の役割を理解し、内容のまとまりごとに段落を分けている。	
⑪下書きを読み返して確かめ、絵や写真を入れて、清書する。	◆比較や分類の仕方、必要な語句などの書き方、引用の仕方を理解し使っている。  ・既習事項をもとに、推敲の観点を示す。	
⑫書き上げた文章を読み合い、互いのよいところを見つけ合う。単元の学習を振り返る。	◇交流の視点を明確にし、友達の報告文を見る。  ◆単元の学習を振り返り、報告する文章を書く時に気を付けることを自分の言葉でまとめている。	

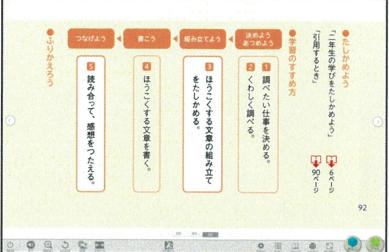
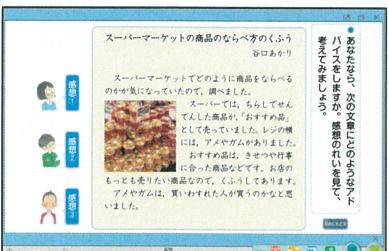
## ■第7時の指導案

### 【本時のめあて】

調べた仕事について、報告する文章の組み立てを理解する。

### 【評価】

調べた仕事について、報告する文章の組み立てを理解している。

学習活動	◇指導上の留意点 ◆評価	デジタル教科書の活用例（数字は学習活動の番号）
①整理した報告したい内容を確認する。  ②本時のめあてを確かめる。 「調べた内容が相手に伝わるような報告文にするための組み立てを考えよう。」	◇学習の見通しをもつために、学習計画のどの段階にいるのかを確認する。  ◇課題意識を明確にするため、自分が報告したい内容をどんな組み立てで文章にすればよいかを問い合わせ、考えさせる。	・P92「学習のすすめ方」を提示しておく。 (①) 
③「ワーク」<アドバイスを考えましょう>を読む。  ④<アドバイスを考えましょう>の不十分な点について個人で考え、ノートに記述する。	◇報告する文章に必要な要素を見出すために、<アドバイスを考えましょう>から不十分な点があることを確認する。  ◇組み立てを考える視点につなげるために、<アドバイスを考えましょう>からは、仕事に関して十分に分からぬ点について考えさせる。	・<アドバイスを考えましょう>の報告文から、読み手にとって不足している情報を考える。 (③) 
⑤見出した不十分な点について全体で共有する。  ⑥不十分な点をもとに、どんな情報があれば調べたことが分かる文章になるかを確認する。	◇焦点化した意見交流とするために、発言の際には、注目した部分に線を引かせる。  ◇調べた仕事について、報告する文章に必要な組み立ての要素を確認するため、「こんな情報があったらよい」ということを考えさせる。	・発表する際に、情報が不足している部分に線を引く。 (⑤) 
⑦報告する文章の組み立てを確認し、学習をまとめる。	◇次時への学習の見通しを持たせるため、自分が調べた内容を文章の組み立ての項目ごとにあてはめて考えさせる。  ◆調べた仕事について、報告する文章の組み立てを理解している。	